UFB 水（ウルトラファインバブル水）の耐菌・耐ウィルス性の検証

2020/03/10

実験期間：令和１年１１月～令和２年３月

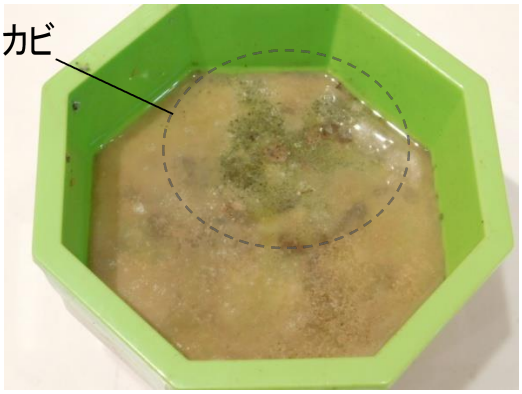
実験目的：イチョウの果実である「銀杏」は腐敗しにくく、土の中の細菌やウィルスの働きで果肉を腐敗させ、食用にする種の部分を摘出し乾燥させ、「ぎんなん」として市場に出される。

これを利用して、水道水と UFB 水の耐細菌・耐ウィルス性の比較検証を行う。

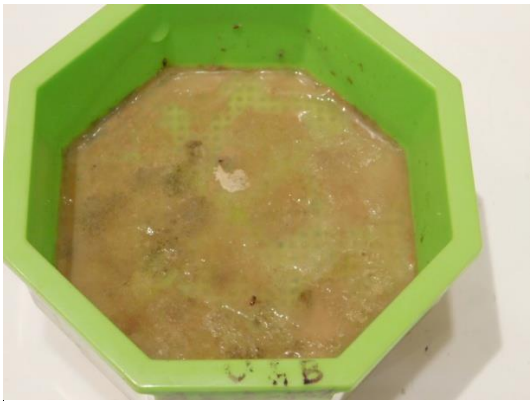
実験方法：水道水と UFB 水を満たした２つの容器にぎんなんを入れ、腐敗プロセス期間約４ヶ月後の様子を比較する。

実験結果

A.　表面の状態　４ヶ月経過後



水道水で浸漬の表面（カビ多し）



UFB 水で浸漬の表面（カビ無し）